

技術文書審議タスクメンバーの評価結果

	丸山	酒井	石橋	一井	坂井	上田
有用性	4	4	4	4	4	4
信頼性	4	4	4	4	4	3
完成度	4	3	3	4	3	3

4. ある, 3. ややある, 2. さほどなし, 1. ない

技術文書審議タスクメンバーの評価結果

技術文書としての 妥当性	丸山	酒井	石橋	一井	坂井	上田
5.妥当である.			✓		✓	
4.軽微な修正はあるものの妥当性である.	✓	✓		✓		✓
3.適切な修正は必要であるものの妥当性である.						
2.修正事項に対する適切な対応が行われていることを確認することが必要である.						
1.技術文書としての発行する段階に至っていない.						

各項目の講評(一部抜粋)

有用性	<ul style="list-style-type: none">• 地中のRC重要構造物について、地震時の挙動が評価可能である。• 照査を行ううえで重要な要点が具体的に示されている。• 密な砂礫地盤の特性について、丁寧に記述されている。
信頼性	<ul style="list-style-type: none">• 数値解析技術など、これまでの実績があり、その結果は信頼できる。• 既往の研究成果・査読を経た論文に基づいた記述がなされている。• データを基にしてきちんと記述されている。
完成度	<ul style="list-style-type: none">• 2021年版の指針を補完する内容となっていて、技術文書として完成度はある。• 細かい表現で難しいところがあるが、議論の上で修正可能なものであり、完成度は高い。• 液状化評価の信頼性、非液状化評価の必要性について、もう少し補足があると、照査を行う際の理解が深まり、より完成度が高くなると考えられる。

技術文書審議スケジュール：総合評価以降

- 2025年1月10日(金) 第4回原子力土木委員会**に技術文書審議タスクの評価結果を報告し、**1月23日(木)**までに評価結果について委員会としての諾否を評価し、追加意見とあわせて篠田担当幹事，委員長へその結果を送る。
- 2025年1月27日(月) 第5回原子力土木委員会**に最終評価結果を報告する。最終評価結果を小委員会へ⇒ 対応(委員長名で評価結果，委員意見，技術文書審議タスクの議事録と最終段階の評価意見シートを送る)
- 小委員会：修正対応の実施の後，技術文書審議担当幹事(中村委員長，篠田担当幹事)に報告：技術文書修正版，修正対応表**
- 技術文書審議担当幹事が確認を行った旨を委員会にメールで報告し，1週間程度の期間を設け，委員会の承認を得る。その結果を委員会に報告する。**

技術文書審議スケジュール：総合評価以降

■外部意見照会[担当(窓口対応)：タスク担当幹事など]

- 技術文書審議タスクが担当幹事を支援して外部意見照会を実施し，意見は担当幹事が集約し修正の要否を判断する．その後，原子力土木委員会に報告する．
- 照会先：土木学会内の委員会（例：地震工学委員会，構造工学委員会，地盤工学委員会，コンクリート委員会）の専門家等
- ここで，専門家とは技術文書の対象とする技術に関する知見が十分にあり，関係学協会で技術基準などの取り纏めの経験を有している研究者や技術者のことである．

■原子力土木委員会(担当窓口)：外部意見照会の結果をまとめ(照会から一ヶ月後)，委員会としての対応基本方針を決定した後，小委員会に報告する．

■小委員会：修正対応を実施し，その結果(対応表，技術文書修正版)を原子力土木委員会に報告する．

■原子力土木委員会：その報告を踏まえ最終評価(メール審議)を行う．